

ほけんだより



24年9月1日発行

今年は、金環日食や金星の太陽面通過など、「空」の話題が多いですね。秋の空のイベントといえば、十五夜とも呼ばれる、中秋の名月。今年は9月30日です。何かとあわただしい毎日ですが、お子さんといっしょに、秋の夜空に輝く月をながめるひとときを楽しんでみてはいかがでしょうか。



9月のめあて
つめを
みじかく
きろう

つめが伸びていると、引っかいてしまったり、折れたりして、ケガの原因に。また、汚れがたまり、不潔になりやすいうえ、つめを噛むクセがつきやすくなります。週に一度は、指先のチェックを。



+ 応急手当 SOS

⑥ 刃物にも刃が詰まったとき

基本の手当て

- ① うつぶせにして、顔を下に向け、背中（肩甲骨の間）を強くたたく。
- ② 飲みこんだものが見えるとき
→ 口に指を入れてかき出す。



ここがポイント

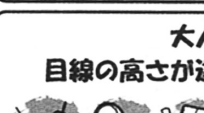
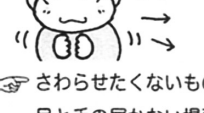
- ★ 咳込んでいたら、そのまま咳を続けさせる。
- ★ こんなときは、すぐに救急車を!!
→ 呼吸が止まったとき
→ 反応がないとき



起こりやすい事故

子どものケガ予防 ▼ 年齢別に気をつけたいこと ▼

こんな特徴があります

	0～1歳	1～3歳	3～6歳	子どもの行動
落ちる	● ベッド、ソファから  寝かせていても、動いたり、寝返りをしたりして、あっという間に転落することがあります。	● 階段から  1人で昇り降りしようとして転落することがあります。階段の上下に柵を取り付けておくことと安心です。	● ベランダや窓から  外を見ようとして、転落することがあります。窓の近くやベランダには、足場になるようなものを置かないで。	大人が思いもしない方向に動く  危険のあるところでは、手をつないで。
こころぶ	● 座っていても  頭が大きく不安定なので、バランスをくずしやすいのです。家具の角には、クッションテープを。	● 公園で遊ぶとき  ブランコやすべり台の降り口で、ぶつかり、転倒する事故も。目を離さず、安全な遊び方を教えましょう。	● お箸やフォークを持ったまま  転んで、刺さることも。食事や歯みがきの最中には、動き回らせないようにしましょう。	大人と目線の高さが違う  子どもの目の高さで危険をチェック。
のみこむ	● 床の上にあるものを  何でも口に入れてしまいます。タバコ、薬、おもちゃやアクセサリは、赤ちゃんの手と目の届かないところに。	● タバコや薬品、化粧品を  大人をまねて、口に入れることも。子どもの手の届かない場所に保管し、しっかり管理しましょう。	● ジュースとまちがえて  お酒を口にしてしまうことがあります。少量でも急性アルコール中毒になることもあるので、注意して!!	
やけど	● アイロンで  少し触れるだけでも、大やけどに。アイロンを使う時はその場を離れず、赤ちゃんの手の届くところに絶対に置かないで。	● テーブルの上  熱いものが入った食器や鍋に触れたり、テーブルクロスを引っ掛けて、熱いものをこぼし、やけどをする危険があります。	● ライターやマッチで  やけどだけでなく、火事を起こす危険も。ふだんから、火は危険だと、きちんと教えることが大切です。	何にでも興味を持つ  さわらせたくないものは、目と手の届かない場所に。